

12月



### 餅つき

餅つきは年末の風物詩。  
でも、杵は重いね。

1月



### 箏

大月宗明先生

五線譜で学ぶと、30分で  
弾けるようになりますよ。

2月



### 手巻きずし

光本智恵子先生

自分で作って食べる味は  
また格別。

3月



### かるた

田中克郎先生

いろはかるたも、ゲーム  
となれば敏捷さが必要。

## ふれあい講演会

岡山市には、さまざまな分野で国際交流に携わっている方が、多数いらっしゃいます。そうした経験をお持ちの方に、これからの国際交流のために、示唆に富んだ講演をしていただきました。

5月



▲白神 浩子さん  
岡 香里さん  
日本姑娘放浪記

7月



▲クルモフ バレリさん  
ブルガリアの暮らしと日  
本の暮らしと

6月



▲能登原 昭夫さん  
異文化の人々とどう付き  
合うか

8月



▲森 英志さん  
フィリピンのこどもたち

9月



▲田中 治彦さん  
地球市民時代の国際教育

12月



▲孔錫亨さん  
日本韓国そして在日韓国人



1月



▲マリス グレゴアールさん  
日本社会の中の女性

2月



▲ムハマド ライスさん  
日本化した私

3月



▲内田 幸恵さん  
やればできる

## 「あくら」も10号に

1992年12月に誕生した、5ヵ国語による生活情報紙「あくら」は、昨年12月で10号になりました。

ボランティア編集員の協力により、岡上で生活する上で役に立つ情報の提供を旨として、手づくり作業でやっております。



## 好評「情報コーナー」

誰でも利用できる「情報コーナー」のパネルはいつも満員です。「英語教えます」「TEACHER WANTED」「サヨナラSALE」「国際交流の集い」といったミニ情報が、ふれあいの仲だちをしています。



# 多彩な語学講座

## 中国語講座

▼鳥越 崇昌先生

▼永井 節志子先生

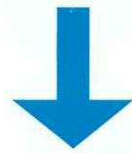


## スペイン語講座

▼アナ・ジョランダ・池田先生



ご主人の仕事の関係で南米へ。



## ハンブル講座

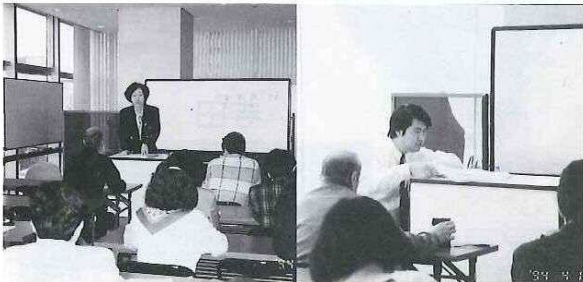
初級担当

▲崔 泰順先生

▼中級担当

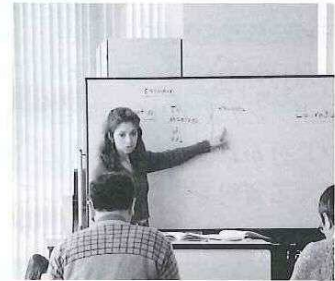
金 相雨先生

千葉へ転勤されました。

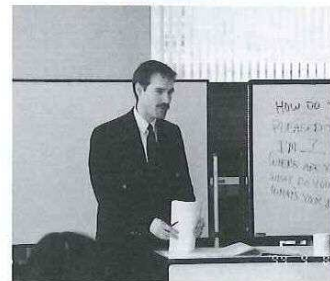


▲林 一圭先生

▼マルレーヌ・タシマ先生



## 旅行英会話



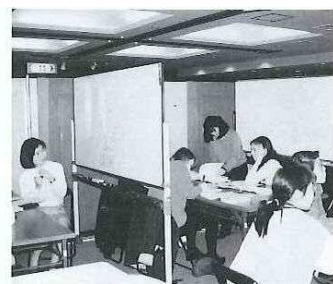
▲ダグラス・ピーターソン先生

## 日本語教室

▼先生との対話によって、表現力を養います。



▲ニホンゴの初歩はイロハ…いや、あいうえおからです。



▲日本語の能力によってクラス分けをしています。

## ボランティア通訳研修会 に参加して



ボランティア通訳

草野 美恵

私は以前からボランティア通訳の登録をしていましたが、毎年の研修会にはいつも用事があって参加できず残念に思っていました。それで今回は早めに日程の調整をして、参加申し込みをしました。

当日はあいにく雨で寒い日でしたが、外国人5人とボランティア21人が集合場所の大供公園で各グループに分かれ、岡山から出発しました。朝鮮通信史に関する資料を中心に展示している牛窓の海遊博物館を訪ね、それぞれのグループの外国人のガイドをしました。

私たちのグループBは日本の文化に非常に興味をもっているカナダのクリスでした。彼女は次々に、様々な質問をして、グループ全員を楽しませて（苦しませて？）くれました。研修先の資料は前もって協議会の方からいただいており、前日一応目を通していたのですが、詳しいことや、逆にごくあたり前の質問に対しては、通訳するのに四苦八苦の状態でした。

研修を終えて自分の勉強不足を痛感しました。語学力の向上だけでなく、普段からの知識の蓄積、日本人としての一般常識の確認の必要性を感じました。

研修会は全体的にとっても準備の行き届いたもので、また機会があれば、次はしっかり準備をして、参加させていただきたいと思います。



▲各グループに分かれてガイド



▲牛窓の海遊博物館

## 「あくら」編集会議に 参加して



寺田 たまみ

「あくら」編集ボランティアに参加をしてから1年半がたちます。途中からの参加ではありますが、第1号「あくら」が誕生をしてまだ間もないころでした。あっという間の1年半です。主にイラストを担当しています。

当初は、「あくら」もまだまだこれから、そして自分も編集ボランティア初体験とが重なり、編集会議は手探り状態でした。しかし、様々な試行錯誤をへて、現在では編集ボランティア員や事務局の方々の協力・応援などにより、徐々に軌道に乗って来ています。昨年は留学生の参加もありました。これから増々楽しくなりそうです。今後も、時間の許す限り編集活動に参加をし、「あくら」の成長をあたたく見守って行きたいと思います。いかがですか？

貴方も編集に参加してみませんか？ あれこれ井戸端会議も交えながら、一緒に楽しく「あくら」を制作して行きましょう。

# 岡山あいフェスティバル'94

今回で5回目を迎えた「岡山あいフェスティバル」。メイン・イベントの“地球ファミリーランド”をはじめ、様々なイベントが開催されました。

開会式のテープカット (11/5) ▶



地球ファミリーランド (11/5・6)  
“巨大巻きずし”に挑戦!

国際交流写真物産展・留学生フォトコンテスト (11/2~9) ▶



国際交流ふれあいコンサート (11/5) ▶



国際家族年記念プログラム  
「私たちは地球人！」 (11/6)



国際家族年記念プログラム  
「私達の国際結婚は」 (11/6)

日米女性ダイアログ (11/23~26) ▶



## 家族・ふれあい・交流



岡山市立旭竜小学校  
片山 主計

今年の“あいフェスティバル”では「ふれあいコンサート」と、「私たちは地球人」と題した国際家族年のプログラムを担当させていただきました。これらを通して外国人との交流を深め、しかも日本人が自分を見つめていける場を設定したいと考えました。

「ふれあいコンサート」では、中国の胡弓の演奏と歌と踊り、それに日本のお琴の演奏を加えて華やかな舞台となり、初期の目的が達せられたのではないかと考えています。

「私たちは地球人」では、市内の小学生から“私の家族”という作文を募集しました。応募総数200点余り、予選の結果残った15点を当日本人が発表し、金賞2点、銀賞3点、銅賞4点が選ばれました。作



文を書くことで、平素何気なく過ごしていた家族の在り方を見直すきっかけになったのではないかと思います。中でも金賞に選ばれた劉穎さんは来日1年目で、中国語で書いた作文を、お友達が家族ぐるみで日本語に翻訳したという、これこそ国際家族年にふさわしいエピソードも含まれています。それに続いて交流のコーナーではインドネシアのアンクロンや、マレーシアのパタクロウの練習をして留学生と交流をしました。子供たちにとって充実した2時間ではなかったかと思っています。

この2つのプログラムを催すに当たって、全面的にご協力いただいた岡山県国際理解教育研究会の先生方に心から感謝いたします。

## 洛陽市青少年歌舞団公演会

11月5・6日のメインイベントに先立って、7月2日、西川アイプラザ5Fホールにおいて「洛陽市青少年歌舞団公演会」が開催された。同歌舞団は、「おかやま音楽祭」（6月29日、於：岡山シンフォニーホール）でも公演した。



## アジア映画祭(2/4・5)



◀スリランカ映画  
「蓮の道」



## バスツアー&ホームステイ



11月12・13日の2日間、外国人と本協議会のホームステイ登録者を中心とした市民の参加により、「バスツアー&ホームステイ」を行った。

また、「岡山市を国際都市とするための提言」をテーマに、4つのグループに分けディスカッションを行った。結果は西川アイプラザで発表し、喜多嶋委員長より岡山市総務局長へ手渡された。



▲ディスカッション



▲三沢りんご園にて



▲提言の発表



▲日本茶の飲み方は…

# ～ 姉妹都市訪問記 ～

## 岡山市民の翼訪中団に 参加して（略記）

岡 田 登 志 男

この団の編成は1992年に次ぐものであった。洛陽の友人と会えることを楽しみに参加申し込みをしたところ、団の秘書長に充てられ、名目だけと心得ながらも困惑のうちに出発。以下の訪問記も、このため個人の色彩が濃くなるのを避けられない。

113人を乗せたチャーター便で岡山空港をたって大連経由で西安入りし、洛陽にたどったのは国慶節の余韻が残る10月3日であった。当夜の洛陽市主催のレセプションでは、張世軍市長のほか顔見知りの方が多く、訪中6次の藤原団長は、あいさつに、乾杯に、カラオケにと忙しい。心のこもったもてなしに友好をかみしめる洛陽第1日目となった。舞台上上がった歌手、演奏家とは旧知の間柄で、しばらくぶりの再会を喜び合うことができた。

4日には、団の役員が市役所と市議会を訪問し、両市間の市民交流の高まりを確認し合い情報を交換。市民の皆さんは名所旧跡に由来とスケールに圧倒されながら遊覧を続けている……。

市役所では、中国の国花選定に話が及び、洛陽市の牡丹にかける意気込みを知らされる。（今年3月に選定）何澤民議長は若々しく、笑顔の人といえる。伺うとトラクター工場の工場長さんであった。前議長の任普恩（元市長でもあった）さんも同席して、話は尽きない。

この後、私は団とは離れて中国の高校生姉妹と市内見物、家庭訪問などをしてくつろぐ。夜には別の友人から郷土料理店に招かれ、旧交をあたためた。

5日には見残しを惜しんで遊覧の後、洛陽空港から北京に。6日には中日友好協会を役員が表敬訪問し、前大阪総領事さんから、都市と農村問題についてお話を聞く。人民代表大会での夜宴会で旅の仕上げをして、翌日の帰国となった。旅の印象は「また行きたい」の一語に……。



▲前列1番左が岡田氏

## 遠い国が少し近くに



谷 義 仁

2月のコスタリカは乾期、花の季節です。この度の訪問は花をテーマに交流の輪を広げようと準備しました。

岡山市内の保育園、小学校の児童、一般の市民、岡山サンホセ交流協会の会員などから寄せられた、花をテーマの写真、絵、書を携えてサンホセ空港に降りました。

空港には、3年前岡山へ造園の研修に来ていた、ラウル、フェルナンドの両氏とその上司の方、前のお世話になった通訳の朝田氏などが出迎えに来てくださっていました。ラウル、フェルナンド両氏は、市の公園緑地部の小野原、野島両氏と抱き合っ、再会を喜び合っていました。

私にとっては2回目のサンホセ訪問です。懐かしい街の姿がありました。新しい街のたたずまいにも接しました。

熱帯雨林の中を舟で下り、ニカラグアにも1歩だけ足を踏み入れました。カリブ海に面したコロラドのフィッシャーマンのためのロッジの静かな夜も過ごしました。

家々の前庭、国立公園のポアス火山への道は、ポロ、ブーゲンビリアなどなどの花が咲き乱れていました。私達は、それを懸命にカメラに納めました。

1995年3月11日からの3日間、サンホセ市を中心にコスタリカの一部を訪ねた後、ホテルエラドウラでサンホセ市長、市議会議員、在コスタリカ日本大使館員、その他交流協会副会長の河原馨さんの知り合いの方など50人をお迎えして親善交歓会を開きました。

会場には、私達は持参した花をテーマの作品に加えて、サンホセ市の方々の花の絵が展示されていました。

遠いコスタリカの国が少し近く、いやずっと近くなったような交歓会でした。私達は、友好の輪を広げ、深め、再会を約束して、楽しいサンホセの夜を過ごしたのです。

# ～ふれあい トピックス～



## 洛陽市青少年歌舞団小学校訪問

( '94. 6 .28)

- 「おかやま音楽祭」「岡山あいフェスティバル'94」に出演のため来岡した、洛陽市青少年歌舞団のメンバー10名が、市内平福小学校の全校児童と演奏・舞踊や歌でふれあいを深めた。

## サンノゼ市パシフィックネイバース（サンノゼ友好団体）理事来岡

( '94. 9 .1～2)

京都市で開催された第24回園芸国際会議出席を兼ねて来岡した、ジョン・ダット夫妻は、サンノゼ子供海外派遣およびこの後の交流事業について協議を行った。



## 岡山市受入研修生・留学生を囲む集い

( '94.10.29)

- 来岡中のアジア留学生・洛陽市技術研修生を囲んで、協議会会員とともに激励と交流の集いを開催しふれあいを深めた。

## 駐日ブルガリア共和国大使夫妻来岡

( '94.11.14)

コンスタンチン・グラバナコフ大使夫妻とニコライ・マリン領事夫妻は、市立オリエント美術館で開催された「トラキア黄金展」のオープニングセレモニーに出席のため来岡。



## 姉妹都市サンホセ市展

( '95. 1 .25～30)

- 岡山サンホセ交流協会（谷義仁会長）の主催で、市民から募集した「花」をテーマにした絵画・書・写真を、まちかど美術館サンホセで展示し、サンホセ市への理解を深めた。





### サンノゼ市・ウェード・ホーバー夫妻来岡 ( '95. 2. 7 ~ 12 )

サンノゼ交換留学生制度の提唱者であるウェード・ホーバー夫妻が来岡し、元サンノゼ交換留学生達と交流した。また、市長からウェード・ホーバー夫妻に「兜」のプレゼントをしたり、今後の交流についても協議した。

### 西大寺会陽見学

( '95. 2. 18 )

第9回文化視察交流団'95はだか祭り「西大寺会陽」を研修中のアジア留学生・洛陽市技術研修生たちも見学した。



### 国際観光客受入セミナー

( '95. 2. 27 )

海外から岡山市を訪れる国際観光客の増加にともない、これに対応するためのセミナーが市民・観光関係者を対象に開催された。

### 国際交流ふれあい講演会開催

( '95. 3. 19 )

本年協議会が10周年を迎え、更に国際理解を深めるため、アントン・ウィッキー氏(タレント・農学博士)を講師とし、「おもしろ英会話と日本文化—外国人から見た日本人—」についての講演会を西川アイプラザ5Fホールで開催した。



# ホ ト ミ ニ 情 報

- スリランカ共和国社会福祉大臣他2名来岡。  
( '94.4.19)
- 在神戸・インドネシア総領事他1名が来岡。  
( '94.5.11)
- 中国映画祭「香魂女—湖に生きる—」が西川アイプラザで上映され、本協議会も後援した。( '94.5.14)
- 友好都市洛陽市外事弁公室の戴保安氏が外事弁公室主任に昇任された。( '94.6.1)
- 友好交流サロンで開講中の語学講座に新たにスペイン語講座を開講した。( '94.7.1)
- 姉妹都市サンノゼ道場団長(田中チャーリー氏・全米剣道連盟副会長)一行15名が来岡。( '94.7.26)
- 桃太郎少年合唱団(団長棚田国雄氏)一行100名が交換演奏会のため、友好都市洛陽市と北京市を訪問。  
( '94.8.18~24)
- 世界連邦宣言自治体全国協議会の平成6年度理事会・総会が岡山市で開催され、全国から33自治体が出席した。  
( '94.8.23~24)
- 第7回岡山市少年サッカー友好訪中団(団長堤正氏)一行34人が第7回日中友好サッカー交流大会に出場のため洛陽市を訪問。  
( '94.8.23~29)
- 岡山市民の翼訪中団(団長藤原貢氏)一行113名が洛陽市を訪問し、交流を深めた。( '94.10.1~7)
- 岡山理科大学と中国河南省洛陽工学院が学術教育交流協定を締結した。( '94.10.3)
- 「'94岡山国際貢献NGOサミット」が岡山市を中心に開催された。( '94.10.20~26)
- 「'94ブルガリア文化の日」記念事業として「トラキア黄金展」が、市立オリエント美術館で開催された。  
( '94.11.15~'95.1.16)
- 洛陽市企業家視察団(団長呉炳興氏)他7名が来岡。  
( '94.11.19~23)
- 日米女性ダイアログ米国代表団4名が来岡・岡山の教育・健康環境等の諸問題について話し合いや視察等を行った。  
( '94.11.23~26)
- 阪神大震災で被災された方々へ本協議会から日本赤十字社岡山県支部を通じ、義援金を送金した。( '95.1.24)
- 「アジア映画祭」が西川アイプラザで開催され、中国・スリランカ・タイの映画を上映し、各国の理解を深めた。  
( '95.2.4~5)
- サンホセ親善訪問団(団長岡山サンホセ交流協会会長谷義仁氏)一行17名は、第2回目のサンホセ市訪問をし、「花」をテーマとしての交流会を開催し、両市の交流を深めた。  
( '95.2.9~18)
- 在大阪中華人民共和国総領事館劉智剛総領事他1名が来岡。( '95.2.21)
- 姉妹都市サンホセ市民からの「サンホセ市の花」をテーマとした写真と絵画等を展示する「姉妹縁組都市サンホセ市文化交流展」が、まちかど美術館サンホセで開催。  
( '95.3.29~4.3)

## おしらせ

本協議会も10年目を迎えました。本年度も、各種語学講座、講演会、日本文化紹介講座等、西川アイプラザ「友好交流サロン」を中心とする様々なイベントを企画しております。

会員の皆様の多数の御参加をお待ちしておりますとともに、今後とも本協議会への暖かい御支援をお願い申し上げます。

- ボランティア通訳・翻訳登録者
- ホームステイ・ホームビジット登録家庭
- 情報紙「あくら」編集スタッフを募集しています。興味のある方は、本協議会事務局まで御連絡ください。

### 岡山市国際交流協議会

事務局 岡山市役所国際課内

〒700 岡山市大供1-1-1

☎ 086-225-4211

(内線 3270~3272)

西川アイプラザ・友好交流サロン

〒700 岡山市幸町10-16

☎ 086-234-5882